

# 玉川大学リベラルアーツ学部生の海外留学に対する意識調査

高城 宏行・網野公一

## 1. はじめに：海外留学に対する意識調査実施の背景

平成30年度の本学国際教育推進委員会において、国際教育ワーキンググループ(WG)を結成し、「海外留学に対する学生の意識調査、及び本学留学プログラム活性化の方策」をテーマに、今年度と来年度の2年間の活動を開始した。WGのメンバーは同委員会の委員である三村真紀子(農学部)、藤枝由美子(芸術学部)、小林亮(教育学部)、網野公一(リベラルアーツ学部)、高城宏行(国際教育センター／リベラルアーツ学部)の5名である。

同テーマ設定の背景に、本学SAE留学プログラム(1～2セメスターの長期留学)の参加者が減少傾向にあることへの問題意識がある。同プログラムの参加者数は2015年度が37名、2016年度が22名、2017年度が10名と年々減り続けている。また、SAE研修プログラム(3～5週間の短期留学)への参加者数は、過去3年間横ばい(35～38名)で推移しているものの、日本学生支援機構(JASSO)の日本人学生留学状況調査(文部科学省2017)によると、1ヶ月未満の短期留学者数は年々増加しており、本学の状況は楽観視できるものではない。

国際教育センターでは全学部生の20%を卒業時まで海外に派遣する目標を掲げており、現状(約17%)から目標値に到達するために、まずは学生の留学を阻害する要因の解明が必要と考え、今年度のWG活動として、学生の留学に対する意識調査を全学的(学部・学科・学年別)に実施した。アンケート調査では3,636人(全学部生数の50%)から回答を収集し、更にWGメンバーの所属学部(農・芸術・教育・リベラルアーツ)の回答者19名からより詳しい意見を聞き取るためのフォーカスグループインタビューを行った。

本稿では、リベラルアーツ(以下LA)学部の調査結果に焦点を当て、全学、及び他学部と比較しながら、LA学部生の海外留学に対する意識を分析し、留学促進に向け学生支援と留学プログラムに関する提案を行う。

## 2. 調査方法

海外留学に対する学生の意識調査を、アンケート及びフォーカスグループインタビューを用いて以下の要領で実施した。

### －1 アンケート

- 1) 実施期間：2018年6～9月
- 2) 調査対象：全学部・学科1～4年生
- 3) 回答者数：3,636人(母集団比率：50%)  
内訳：文240人(38.8%)、農624人(50.8%)、工329人(31.3%)、経営486人(83.2%)、教育704人(47%)、芸術518人(47%)、LA550人(74.8%)、観光185人(41.2%)。詳細は表1を参照。
- 4) 調査方法：各学部の国際教育推進委員を通し、各学科・学年にて無作為に授業やゼミでアンケート用紙を配布し学生に記入を依頼、回収した回答データの入力・集計は外注した。

### 5) 質問内容(計6問)：

- ・質問1：これまでに本学もしくは学外の留学プログラムに参加しましたか？
- ・質問2：これまでに参加した留学プログラムについてそれぞれの質問にお答え下さい。
- ・質問3：今後留学の予定または留学に関心はありますか？
- ・質問4：留学に関心がない理由は何ですか？
- ・質問5：予定または希望する留学プログラムについてそれぞれの質問にお答え下さい。
- ・質問6：留学に対するご意見や大学へのリクエスト等があればご記入下さい。

詳細は付録資料1のアンケート用紙を参照。

### －2 フォーカスグループインタビュー

- 1) 実施期間：2018年10～11月
- 2) 調査対象：農・芸術・教育・LA学部のアンケート回答者で、留学に関心があるが実際に留学するか未定と回答した1-2年生。

所属：リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科

表1：学部・学科・学年別在籍者数とアンケート回答者数、及び回答者数の母集団比率

学年		1年		2年		3年		4年		合計		母集団比率
学部	学科	在籍者数	回答者数	在籍者数	回答者数	在籍者数	回答者数	在籍者数	回答者数	在籍者数	回答者数	
文	国語教育	69	30	70	28		0		0	139	58	41.7%
	人間		0		0	83	30	85	32	168	62	36.9%
	比較文化							4	1	4	1	25.0%
	英語教育	79	39	75	30	71	25	82	25	307	119	38.8%
	合計	148	69	145	58	154	55	171	58	618	240	38.8%
農	生産農	158	51	163	57		0		0	321	108	33.6%
	環境農	75	24	49	29		0		0	124	53	42.7%
	先端食農	76	74	66	61		0		0	142	135	95.1%
	生物資源		0	1	0	134	43	102	35	237	78	33.0%
	生物環境システム		0		0	91	36	83	31	174	67	38.5%
	生命科学		0	1	1	114	102	116	80	231	183	79.2%
	合計	309	149	280	148	339	181	301	146	1,229	624	50.8%
工	情報通信工学	74	23	60	23		0		0	134	46	34.3%
	機械情報システム		0		0	55	35	62	15	117	50	42.7%
	ソフトウェアサイエンス	72	30	72	30	67	30	86	30	297	120	40.4%
	マネジメントサイエンス	75	0	71	0	66	20	96	4	308	24	7.8%
	エンジニアリングデザイン	56	29	55	20	37	19	47	21	195	89	45.6%
	合計	277	82	258	73	225	104	291	70	1,051	329	31.3%
経営	国際経営	146	139	180	155	124	82	134	110	584	486	83.2%
教育	教育	286	272	289	268	279	4	302	0	1,156	544	47.1%
	乳幼児発達	87	80	86	80	87	0	83	0	343	160	46.6%
	合計	373	352	375	348	366	4	385	0	1,499	704	47.0%
芸術	パフォーマンス・アート	137	44	140	43	108	45	123	47	508	179	35.2%
	メディア・デザイン	111	103	106	40	80	24	95	26	392	193	49.2%
	芸術教育	47	47	50	47	50	32	54	20	201	146	72.6%
	合計	295	194	296	130	238	101	272	93	1,101	518	47.0%
リベラルアート	リベラルアート	208	186	178	165	181	108	168	91	735	550	74.8%
観光	観光	106	53	119	54	106	43	118	35	449	185	41.2%
合計		1,862	1,224	1,831	1,131	1,733	678	1,840	603	7,266	3,636	50.0%

## 3) 面接者数：19人

内訳：農7人、教育3人、芸術4人、LA5人

## 4) 調査方法：該当する1-2年生を各学部数名選抜し、同WGメンバーが質問者となり、学部別にグループで質疑応答や意見交換を行った。所要時間は50分程度。

## 5) 質問内容：

- ・留学に関心を持ったきっかけや動機は何か？
- ・留学を躊躇する主な要因は何か？
- ・海外留学・生活について不安に思うことは何か？
- ・留学の意思決定に有効な支援は何か（奨学金・関連情報の提供・学修支援など）？

・どのような留学（留学先・方法・内容・費用など）に関心があるか？

詳細は付録資料2を参照。

### 3. LA学部生のアンケート調査結果と分析

アンケート調査の結果を、全学及び学部別に表2にまとめた。LA学部生の結果（回答者数550人、母集団比率75%）について、全学、及び他学部と比較しながらアンケート調査の6つの質問毎に分析を行った。

—質問1：これまでに本学もしくは学外の留学プログラム（短期研修を含む）に参加しましたか？

アンケート調査時点で留学経験のある学生は全学で331人（総回答数比：9.1%）であった。ただし、この人数には留学が必修である文学部英語教育学科（2年次秋学期～9カ月間）、農学部環境農学科（2年次3～4カ月間）、観光学部（2年次秋学期～1年間）の学生が含まれる。

LA学部の留学経験者は25人（総回答数比：4.5%）であった。総回答数比率は全学より少ないものの、留学が必修の文・農・観光の3学部を除くと経営学部に次いで高い比率である。

—質問2：これまでに参加した留学プログラム（以下A～C）についてそれぞれの質問にお答え下さい。

表2：全学及び学部別アンケート調査の結果

質問1	全体	農	工	文	芸術	教育	リベラル アーツ	経営	観光
これまでに本学もしくは学外の留学プログラム（短期研修を含む）に参加しましたか？									
はい	331	93	9	62	12	16	25	29	85
総回答数に対する比率	9.1%	14.9%	2.7%	25.8%	2.3%	2.3%	4.5%	6.0%	45.9%
いいえ	3,307	530	320	178	508	689	524	458	100
回答なし	3	1	0	0	0	0	2	0	0
総回答数（複数回答者あり）	3,641	624	329	240	520	705	551	487	185
質問2	全体	農	工	文	芸術	教育	リベラル アーツ	経営	観光
これまでに参加した留学プログラム（以下A～C）についてそれぞれの質問にお答え下さい。									
A. 本学SAEプログラム	53	7	4	5	1	3	15	16	2
総回答数に対する比率	15.4%	7.2%	44.4%	7.8%	8.3%	18.8%	51.7%	55.2%	2.2%
B. 本学所属学部プログラム	195	67	0	50	0	0	2	0	76
総回答数に対する比率	56.5%	69.1%	0%	78.1%	0%	0%	6.9%	0%	85.4%
C. 学外プログラム	97	23	5	9	11	13	12	13	11
総回答数に対する比率	28.1%	23.7%	55.6%	14.1%	91.7%	81.3%	41.4%	44.8%	12.4%
本学プログラムを選ばなかった理由									
a. プログラムを知らなかった	19	6	1	0	3	6	1	1	1
b. 申請期限に間に合わなかった	3	1	0	0	0	0	1	0	1
c. 申請要件を満たせなかった	3	0	0	0	0	0	0	3	0
d. 希望するプログラムがなかった	9	5	0	1	2	0	1	0	0
e. 費用が高かった	9	2	0	0	0	3	1	2	1
f. 留学時期が合わなかった	4	1	1	0	0	1	1	0	0

g. その他	20	4	0	1	4	2	2	3	4
質問3	全体	農	工	文	芸術	教育	リベラル アーツ	経営	観光
今後留学の予定または留学に関心はありますか？									
ある	1,376	202	93	124	180	228	208	209	132
総回答数に対する比率	36.6%	31.2%	27.2%	50%	33.1%	31.7%	36.6%	41.1%	71.4%
ない	2,371	441	248	124	361	492	355	298	52
NA	15	5	1	0	2	0	5	1	1
総回答数 (複数回答者あり)	3,762	648	342	248	543	720	568	508	185
質問4	全体	農	工	文	芸術	教育	リベラル アーツ	経営	観光
留学に関心がない理由は何ですか？（複数回答可）									
A. 海外に興味がない	445	88	52	24	64	95	70	51	1
B. 外国語が苦手	1,025	226	146	54	165	192	150	90	0
C. 費用の問題	1,002	199	91	60	189	195	136	117	13
D. 海外生活が不安	750	152	108	36	118	133	115	83	3
E. 本学の科目履修で忙しい	641	130	68	41	99	130	80	84	9
F. 部活やバイト等で忙しい	571	73	56	45	77	153	94	65	8
G. 就職活動への影響	230	42	24	16	35	24	28	36	24
H. 治安の問題	332	66	62	20	57	53	48	26	0
I. 親が反対	52	10	9	2	4	12	3	10	2
J. その他	120	19	10	10	24	14	26	10	7
質問5	全体	農	工	文	芸術	教育	リベラル アーツ	経営	観光
予定または希望する留学プログラムについて以下A～Dから選び質問にお答え下さい。（複数選択可）									
A. 本学SAEプログラム	112	5	0	9	11	21	31	29	6
質問3「はい」の回答数に 対する比率	8.1%	2.5%	0%	7.3%	6.1%	9.2%	14.9%	13.9%	4.5%
B. 本学所属学部プログラム	198	35	0	62	2	2	4	3	90
質問3「はい」の回答数に 対する比率	14.4%	17.3%	0%	50%	1.1%	0.9%	1.9%	1.4%	68.2%
C. 学外プログラム	116	14	7	8	20	16	18	26	7
質問3「はい」の回答者 に対する比率	8.4%	6.9%	7.5%	6.5%	11.1%	7%	8.7%	12.4%	5.3%
本学プログラムを選ばない理由									
a. プログラムを知らない	41	4	0	0	6	10	8	12	1
b. 申請期限に間に合わない	4	1	0	0	2	1	0	0	0
c. 申請要件を満たせない	15	0	1	2	4	0	4	4	0

d. 希望するプログラムがない	11	2	0	2	3	2	1	1	0
e. 費用が高い	27	4	2	2	6	5	3	5	0
f. 留学時期が合わない	11	0	1	0	1	4	2	2	1
g. その他	7	1	1	1	1	1	0	1	1
D. 未定	995	146	84	52	157	195	168	160	30
質問3「はい」の回答数 に対する比率	72.3%	72.3%	90.3%	41.9%	87.2%	85.5%	80.8%	76.6%	22.7%
未定の理由									
a. 申請要件を満たせない	211	27	25	5	27	35	44	46	2
b. 希望するプログラムがない	48	4	9	2	10	8	11	4	0
c. 費用の問題	420	60	44	23	64	86	78	51	14
d. 海外生活が不安	223	40	20	5	40	40	42	34	1
e. 本学の科目履修で忙しい	301	49	26	14	52	61	40	53	4
f. 部活やバイト等で忙しい	225	29	19	8	35	62	39	29	4
g. 就職活動への影響	128	25	14	16	15	17	14	20	7
h. 治安の問題	53	13	8	3	10	9	6	4	0
i. 親が反対	26	5	3	0	2	5	3	6	2
j. その他	121	23	3	10	22	16	27	15	5

全学を見ると、留学経験者の内、最も多くの学生が参加した留学プログラムは195人（総回答数比：56.5%）の所属学部プログラムである。この人数は留学が必修である上記3学部の学生ではほぼ占められている。次に多いのは97人（28.1%）が参加した学外プログラムである。これは主に本学入学前に参加した高校または民間企業等が提供する短期留学プログラムが含まれる。本学SAEプログラムへの参加経験者は最も少ない53人（15.4%）であった。本学プログラムを選択しなかった理由は「プログラムを知らなかった」（19人）が圧倒的に多く、「その他」（20名）でも、大学入学前の留学のためSAEプログラムを知らなかったという回答が殆どであった。

LA学部生においては、SAEプログラムが15人（総回答数比：51.7%）と一番多く、続いて学外プログラムが12人（41.4%）、そして所属学部プログラム（3週間の語学学習とフィールドワークを行うオーストラリア短期研修）が2人（6.9%）であった。全学同様、学外プログラムには入学前に参加した高校または民間企業等が提供する短期留学プログラムが含まれる。学部プログラムについては発展途上であり未だ参加者は少数だが、留学が必修の3学部以外と比較すると低い数字ではない。

—質問3：今後留学の予定または留学に関心はありますか？

全学で見ると、予定・関心がある学生は1,376人（総回答数比：36.6%）であった。表3の学年別に見ると、予定・関心がある学生数は1年次が最も多く、その後学年が進行するにつれて減少し、特に3年次と4年次の減少幅が大きい。一因として、就職活動もしくは科目履修や卒業論文等で多忙になることが考えられる。

LA学部においても、全学と同様に留学予定・関心のある1年生が80人（総回答数比：43%）、2年生が78人（47.3%）と3年生の29人（26.9%）と4年生の21人（23.1%）を大きく上回っている。総回答数比率を見ると2年生が1年生以上に高く、また、全学の比率を上回っており、2年次に全員留学する3学部を除き、最も高い比率となっている。

—質問4：留学に関心がない理由は何ですか？（複数回答可）

全学では、回答が多い順に「外国語が苦手」（1,025人）、「費用の問題」（1,002人）、「海外生活が不安」（750人）、「本学の科目履修で忙しい」（641人）、「部活やバイト等で忙しい」（571人）と続く。これらは「海外に興味がある」



表3：今後留学の予定または留学に関心のある学生の学年別人数と総回答数比率

	1年生		2年生		3年生		4年生	
	「ある」の 回答数	総回答数 比率	「ある」の 回答数	総回答数 比率	「ある」の 回答数	総回答数 比率	「ある」の 回答数	総回答数 比率
全体	534	43.7%	472	42.3%	204	30.8%	147	24.9%
農	60	40.3%	62	41.9%	47	26.0%	33	22.6%
工	25	30.5%	25	34.2%	25	24.0%	18	25.7%
文	43	62.3%	36	62.1%	25	45.5%	20	34.5%
芸術	77	39.7%	48	36.9%	35	34.7%	20	21.5%
教育	117	33.2%	109	31.3%	—	—	—	—
LA	80	43.0%	78	47.3%	29	26.9%	21	23.1%
経営	79	58.1%	60	42.6%	27	40.3%	24	24.5%
観光	53	100%	54	100%	14	32.6%	11	31.4%

ない」(445人)を大きく上回っており、留学への関心の有無は、海外への興味の程度以上に、留学に必要な諸条件に対する準備性(費用、語学力、留学に関する情報量、履修状況など)に影響を受けていると考えられる。「その他」(120人)には主に以下の理由が含まれる。

- ・現状に満足(日本が好き、日本を離れたくない、日本でやりたいことがある等)。
- ・留学への不安(留学の目的・意義が分からない、ホームシック、食事が合わない、治安、飛行機が苦手等)。
- ・既に留学または海外での経験がある。
- ・4年生のため今更留学できない。

LA学部においても同様の順位となっているが、「部活やバイト等で忙しい」(94人)が「本学の科目履修で忙しい」(80人)を上回っている。理系や経営学部等比べて科目履修の柔軟性が高いことが一因と考えられる。「その他」(27人)についても全学の上記理由とほぼ同様である。

—質問5：予定または希望する留学プログラムについて以下A～Dから選び質問にお答え下さい。(複数選択可)

全学で見ると、予定または希望するプログラムとして最も回答数が多いのは「本学所属学部プログラム」の198人(質問3「はい」の総回答数比率：14.4%)、続いて「学外プログラム」の116人(8.4%)、僅差で「SAEプログラム」の112人(8.1%)である。本学プログラムを選ばない理由として「プログラムを知らない」(41人)が圧倒的に多く、次に「費用が高い」(27人)、「申請要

件を満たせない」(15人)、「希望するプログラムがない」(11人)、「留学時期が合わない」(11人)等があげられた。留学に関心があるが未定とした学生は995人(同比率：72.3%)おり、未定の理由は多い順に「費用の問題」(420人)、「本学の科目履修で忙しい」(301人)、「部活やバイト等で忙しい」(225人)、「海外生活が不安」(223人)、「申請要件を満たせない」(211人)と続く。「申請条件を満たせない」を除き、留学に関心のない理由と同様の項目が上位にあがっている。「その他」(121人)には主に以下の理由が含まれる。

- ・留学への迷いや不安(留学についてよく知らない、目的が不明、現地生活への不安等)。
- ・留学するための英語力が不十分。
- ・就活への悪影響、または卒業後にワーキングホリデーや大学院での留学を希望。
- ・既に留学経験があり、再度行くか悩んでいる。

LA学部については、SAEプログラムが31人(質問3「はい」の総回答数比率：14.9%)と一番多く、次に学外プログラム18人(8.7%)、学部プログラム4人(1.9%)と続く。本学プログラムを選ばない理由は、全学と同様に「プログラムを知らない」(8人)が一番多く、「申請要件を満たせない」(4人)、「費用が高い」(3人)、「留学時期が合わない」(2人)と続く。留学に関心があるが未定とした学生は168人(80.8%)おり、全学の同比率を上回っている。未定の理由は「費用の問題」(78人)が圧倒的に多く、「申請要件を満たせない」(44人)、「海外生活が不安」(42人)、「本学の科目履修で忙しい」(40

人)、「部活やバイト等で忙しい」(39人)が僅差で続く。「その他」(27人)には主に留学に対する不安があげられている:「お金を盗まれるのが怖い」、「留学するほど学力に余裕がない」、「ホームステイが苦手」、「準備が大変そう」、「ホームシック」、「現地で生活に対する不安」、「英語力のなさ」、「人の家がきらい、食事が合わない」。これらに加え「大学院で私費留学をするかもしれない」、「留学のタイミングが合わない」、「日本人や同じ大学の人が少ない所に行きたい」等が含まれる。

一質問6: 留学に対するご意見や大学へのリクエスト等があればご記入下さい。(自由回答)

LA学部において最も多い意見は費用に関する問題であった。親からの経済支援が見込めない、もしくは負担をかけたくないため、奨学金の支給、または費用の安い留学プログラムの提供等のリクエストが学年を問わずあった。次に、留学には関心があるが不安や自信のなさ、準備の仕方がよく分からず決められないという意見が多い。また、英語力またはその他外国語力が低く、更にそれらの語学力向上の機会が学内に少なく、申請や現地での生活に必要なレベルに到達できず留学を躊躇するという声もある。その他に、16単位上限の問題や就職活動への影響で学部時代の留学は難しいとする意見が複数あった。

#### 4. フォーカスグループインタビューの結果と分析

LA学部生に対するフォーカスグループインタビューを以下2回教育棟7階ラウンジで実施した。

①11月13日13:00-13:50, 参加者3名(1年女子学生1名, 2年女子学生2名)

②11月21日11:00-11:50, 参加者2名(1年男子学生2名)

前述の通り、同インタビューへの参加者は、アンケートにて留学に関心はあるが留学は未定とした回答者である。

まず、留学に関心を持ったきっかけや動機についての質問では、共通して過去の短期留学経験もしくは国内にて外国人留学生または留学経験者との交流により影響を受けたことがあげられた。参加者の殆どが英語力の向上と異文化経験は将来の就職に必要と感じており、留学を通してこれらの資質・能力を修得することが共通の動機となっている。

次に留学を躊躇する要因については、費用に関する問

題点が多くあげられた。特に長期留学希望者からは、多額の費用に見合う経験を得られるのか、現地生活に適應できず途中帰国した知人がおり、果たして自分が納得できる学修成果を得られるのか疑問視する声が聞かれた。2年生の参加者からは、今後3年次で留学した場合、インターンシップや就職活動を十分に行えなくなるリスクへの懸念があげられた。また、現地での生活に関して不安に思うことを具体的に聞いたところ、英語力不足により日常の買い物や病院での診察の際に英語で対応できない、コミュニケーションが上手くとれず人間関係を築けない可能性を憂慮する者が多かった。本学ELFの授業では留学先で役立つ英語力が身に付かないとする不満の声も少なくなかった。その他には、テロ、盗難、薬物使用等の治安面、または食文化やホームステイへの適應に不安を感じていた。

留学の意思決定に有効な支援については、一番に奨学金があげられたが、留学で実際にかかる費用が不明で、必要な自己負担額の見当がついていない者が殆どであった。費用面を含め、留学経験者の話を聞きたいとする希望が多い一方で、国際教育センターが開催する留学説明会や留学経験者による座談会等のイベントに参加したことがある学生は少数であった。留学の意志がある程度固まる前にこれらのイベントに参加すべきではない、または参加すると半強制的に留学させられるのではないかという誤解があった。できれば授業内(例えば1年次・2年次セミナー等)にて留学に関する説明をして欲しいとのリクエストがあった。また、留学中にトラブルが起きた際に、日本語で対応してくれる同行者または現地担当者がいると安心して参加できるとの声も聞かれた。

最後にどのような留学(留学先・方法・内容・費用等)に関心があるかを聞いたところ、単なる英語学習でなく、海外の文化、歴史、芸術、世界遺産等に触れる機会、もしくは興味のある学問分野の授業科目(例えば、公務員志望者は政治学関連科目)が履修できるプログラムがあげられた。英語学習についても、ジェネラルまたはアカデミック英語に加え、ビジネス英語を学びたいという者、更には欧州に留学し英語とドイツ語等の第二外国語を学習したいという声も聞かれた(インタビューの詳細は、付録資料2を参照されたい)。

#### 5. LA学部生の留学促進に向けた提言

本調査でLA学部生の留学への関心の高さが明らかになった。アンケートに回答した4割弱の学生が今後留学

の予定または留学に関心があり、1, 2年生においては5割近くに及んでいる。しかし、その内の8割以上が留学に関心はあるものの留学を決断できずにいることも分かった。これらの学生の中には、留学関連イベントに参加する等して情報収集を行い、自ら問題の解決や不安の払拭を試みることであれば、漠然とした関心に留まる者が少なくない。学年進行により留学の予定・関心がある学生が減少し、特に3年次から約半減することを勘案すると、最も留学への関心が高い2年次に、留学の阻害要因を軽減し、留学の準備性を高めておくことが重要となる。主な阻害要因の内、費用の問題と海外生活に対する不安については、奨学金や海外生活に関する情報提供や助言を与えることである程度払拭することができるだろう（本学のSAE留学奨学金は、ここ数年申請者または申請要件を満たす者が少なく余剰金が出ている状況である）。留学や奨学金申請を含め留学に向けた準備の方法、及び費用対効果を疑問視する学生に対する留学の意義や学修成果、就職活動やキャリアへの影響等を説明することで、留学の意志決定を支援できる。来年度から新設される100番台の全学US科目「海外留学入門」（高城担当）の授業ではこれらの内容が網羅されている。また、1年次・2年次セミナー等にて留学の案内を行う時間を設け、より多くの学生に留学に関する情報を提供することを検討すべきであろう。

並行して、本学の留学プログラムの内容や広報の仕方を見直す必要がある。まず広報について、本学プログラムを知らない学生が多くいることが明らかになり、従来の学内掲示、ホームページやBbの活用だけでは学生への周知が不十分であると言わざるを得ない。実際Bbを見ない学生が多数いる現状を踏まえ、授業内外での告知、Eメールやsnsの利用等、方策を考えるべきである。

プログラムの内容については、学生の関心が従来の英語学習に加え、第二外国語の学習、専門科目の履修、学外活動と広がり、留学内容、及び留学目的・行き先、時期・費用等を含む学生のニーズ、及び留学に対する準備性が多様化する傾向にある。これらに応じ、既存のSAE・学部プログラムの改善、更には新規開発を検討することが望ましい。

## 6. おわりに

本調査の結果を踏まえ、当ワーキンググループでは来年度に本学留学プログラムの改善・開発案を検討し、実施に向けた準備を行う予定である。

他学部と比較して留学経験者、及び留学予定者または留学に関心のある学生（特に1,2年生）が多いLA学部が牽引役となり、本学における学生の留学が更に促進されることが期待される。

## 謝辞

本調査において、アンケートへの回答、そしてフォーカスグループインタビューに応じてくれたLA学部生、及び授業・ゼミにてアンケート用紙の学生への配布・回収にご協力いただいたLA学部教員の方々に感謝を申し上げます。

## 参考文献

文部科学省 (2017) 『日本人の海外留学状況』 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/ryugaku/1345878.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1345878.htm) (2018年12月28日参照)

(たかぎ ひろゆき／あみの こういち)



資料1：アンケート用紙

海外留学に対する意識調査（2018年度春学期実施）

学部：\_\_\_\_\_ 学科：\_\_\_\_\_ 学年：\_\_\_\_\_ 組：\_\_\_\_\_

学籍番号：\_\_\_\_\_ 氏名：\_\_\_\_\_

質問1：これまでに本学もしくは学外の留学プログラム（短期研修を含む）に参加しましたか？

A. はい →質問2へ B. いいえ →質問3へ

質問2：これまでに参加した留学プログラム（以下A～C）についてそれぞれの質問にお答え下さい。

A. 本学SAE\*プログラム \* Study Abroad Experience の略で国際教育センターが全学に提供する長期・短期留学プログラム

①留学先大学（\_\_\_\_\_）

②留学期間（\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 ～ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日）

B. 本学所属学部プログラム

①留学先大学（\_\_\_\_\_）

②留学期間（\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 ～ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日）

C. 学外プログラム

①留学先国及び大学・機関（\_\_\_\_\_）

②プログラムの仲介企業・機関（\_\_\_\_\_）

③留学期間（\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 ～ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日）

④プログラムの概要（\_\_\_\_\_）

⑤費用（参加費 \_\_\_\_\_円，宿泊費 \_\_\_\_\_円，航空券 \_\_\_\_\_円，その他 \_\_\_\_\_円）

⑥参加当時の当該外国語力（例：TOEIC IP500点等）（\_\_\_\_\_）

⑦本学（SAE・所属学部）プログラムを選ばなかった場合、その理由は何ですか？（複数回答可）

a. プログラムを知らなかった b. 申請期限に間に合わなかった

c. 申請要件（英語力もしくはGPA）を満たせなかった d. 希望するプログラムがなかった

e. 費用が高かった f. 留学時期が合わなかった

g. その他（\_\_\_\_\_）

→質問3へ

質問3：今後留学の予定または留学に関心はありますか？

A. ある →質問5（裏面）へ B. ない →質問4

質問4：留学に関心がない理由は何ですか？（複数回答可）

A. 海外に興味が無い B. 外国語が苦手 C. 費用の問題（予算上限：航空券込みで \_\_\_\_\_円程度）

D. 海外生活が不安 E. 本学の科目履修で忙しい F. 部活やバイト等で忙しい G. 就職活動への影響

H. 治安の問題 I. 親が反対 J. その他（\_\_\_\_\_）

→質問6（裏面）へ

質問5：予定または希望する留学プログラムについて以下A～Dから選び質問にお答え下さい。(複数選択可)

A. 本学SAE\*プログラム \* Study Abroad Experience の略で国際教育センターが全学に提供する長期・短期留学プログラム

①留学先大学 ( )

②留学期間 ( 年 月 日 ～ 年 月 日 )

B. 本学所属学部プログラム

①留学先大学 ( )

②留学期間 ( 年 月 日 ～ 年 月 日 )

C. 学外プログラム

①留学先国及び大学・機関 ( )

②プログラムの仲介企業・機関 ( )

③留学期間 ( 年 月 日 ～ 年 月 日 )

④プログラムの概要 ( )

⑤費用 (参加費 円, 宿泊費 円, 航空券 円, その他 円)

⑥現在の当該外国語力 (例：TOEIC IP400点等) ( )

⑦本学 (SAE・学部) プログラムを選ばない場合、その理由は何ですか？ (複数回答可)

a. プログラムを知らない b. 申請期限に間に合わない c. 申請要件 (英語力もしくはGPA) を満たせない

d. 希望するプログラムがない e. 費用が高い f. 留学時期が合わない

g. その他 ( )

D. 未定 → 留学を決意できない場合、その理由は何ですか？ (複数回答可)

a. 申請要件 (英語力もしくはGPA) を満たせない

b. 希望するプログラムがない (希望のプログラム内容： )

c. 費用の問題 (予算上限：航空券込みで 円程度) d. 海外生活が不安

e. 本学の科目履修で忙しい f. 部活やバイト等で忙しい g. 就職活動への影響 h. 治安の問題

i. 親が反対 j. その他 ( )

→質問6へ

質問6：留学に対するご意見や大学へのリクエスト等があればご記入下さい。(自由回答)

ご協力有難うございました。

## 資料2：フォーカスグループインタビュー要点の書き起こし（網野公一）

### 第1回目

◇日時：2018年11月13日火曜日1:00～1:50pm

◇場所：教育棟7Fラウンジ

◇対象学生：2年生女子（A）、2年生女子学生（B）、1年生女子学生（C）

◇質問者：高城宏行（T）・網野公一

#### ●趣旨説明、留学に関心を持った動機は？（T）

○高校時代にフィンランドからの留学生と日本で交流したのが切っ掛けで興味を持った。留学すれば自分自身もその留学生と同じように外国語や勉強ができるようになると期待がある。（A）

○社会で英語力が必要とされているように思うから、また周囲に留学経験者がいる。（B）

○英語が好きで、タイへ研修留学の経験がある。（C）

#### ●留学を踏みとどまっているマイナス要因は？（T）

○費用対効果がよく分からない。海外から日本への留学生の中には途中で本国へ帰国してしまう人がいる。私もそうならないか不安がある。留学経験者の体験談を聞いてもあまり納得できない。（A）

○来年の秋学期から留学すると、就活、インターンシップ、学事などへの参加が不可能になる。（B）

○長期留学が希望だが、費用の捻出が難しい。（C）

#### ●留学にあたり英語力への不安は？（T）

○英語力の有無は必ずしもマイナス要因ではない。英語力がなくとも日本でフィンランド人と交流ができた。（A）

#### ●海外生活への不安は？（T）

○留学先で現地の人々の対応がどうなのか、人間関係を築けるのかよく分からず不安がある。（A）

○言語力やコミュニケーション力に不安がある。（B）

○言葉が通じないと、何かあった時に人に頼ることができず不安である。（C）

#### ●治安面は？（T）

○イギリスをはじめ、大麻等のドラッグを使用している人がいることを怖く感じる。（B）

#### ●留学を決める際に必要な支援は？（T）

○コースの内容によっては遊んでしまいそうなので、内容の充実したコースを選びたい。（A）

#### ●奨学金は？（T）

○制度の存在は知っているが、詳しくは知らない。（A）

○親に負担をかけず自分の力で留学したい。（A）

○費用面が不透明。また、留学前に関連情報の収集や英語を十分に勉強したい（B）

○費用面を含め、留学経験者から体験談を聞きたい。（C）

#### ●ELFでの英語学習の成果は？（T）

○文法ばかりで留学で役立つ英語力は身に付かない。（B）

○もっと文法を勉強したい。授業中に学生同士が英語で会話をしてもお互いの能力が限られあまり意味がない。（A）

#### ●希望する留学内容は？（T）

○語学学習以外に政治について学ぶことが出来る内容が加味されているプログラムが良い。（A）

○世界遺産を見てみたい。（B）

○世界遺産＋文化や芸術に触れ知見を広げたい。（C）

## 第2回目

◇日時：2018年11月21日水曜日 11:00～11:50am

◇場所：教育棟7Fラウンジ

◇対象学生：1年生男子（A），1年生男子（B）

◇聞き手：高城宏行（T）・網野公一

●趣旨説明，留学に関心を持った動機は？（T）

○旅行はあるが現地での学びの経験がまだない。また言語（英語）習得，異文化体験に興味がある。（A）

○明確な理由はないが，楽しそうだし，英語圏を経験してみたい。（B）

●留学を踏みとどまっているマイナス要因は？（T）

○踏み切れない理由は経費が高いことと経費対効果に確信が持てないから。また，留学プログラムの期間が合わない（できれば春休みや夏休み期間のプログラムが希望），ドイツ語圏への留学にも興味がある。（A）

○経費が高いのが踏み切れない理由。現地の文化に適合できない時にどうするのか不安。ホームステイは避けたいので学生寮を希望。東南アジアの食文化が苦手である。（B）

○食文化をはじめ異文化に適合できるか不安がある。（A）

●留学にあたり英語力への不安は？（T）

○不安はあるが，留学までに英語力を向上させたい。（A）

○英語力がなく，買い物など日常生活に支障がでないか不安がある。（B）

○ELFの授業だけで，実際の留学で通用する英語力が身に付くのか疑問がある。（A）

○生涯学習センターで英会話を勉強している。（B）

○レジ担当のアルバイトで外国人と接する機会がある。（A）

●その他の不安要素は？（T）

○留学先でトラブルが起きた場合，どのように対応すればよいか？（B）

○治安や安全への自己防衛意識の違いなど。（A）

○留学経験がある友人からトラブルについて話をきいている。（A）

●留学を決める際に必要な支援は？（T）

○留学先に日本語で相談できる人がいると安心できる。（A・B）

○留学の際は奨学金は活用したいが，情報が不足している。留学説明会に参加すると留学を強いられると思い参加していない。（B）

○説明会を1年次・2年次セミナーなど授業の中で行ってほしい。（A）

●希望する留学内容は？（T）

○欧米への留学を希望しているが英語以外の言語も勉強したい。（B）

○短期の留学でビジネス英会話を学びたい。またドイツ語圏への留学にも興味がある。（A）